

■帯広

☆安全最優先を誓う
宮坂建設工業(宮坂
寿文社長)は23日、帯
広市内のホテルで本年
度防災推進会議を開
き、協力会社120社
からも含め420人が
参加した11写真11。
防災事故防止のため
毎年開催している。同
社は創業90周年を迎え
る今年を「新始動元年」
と位置づけており、会
議では帯広署、帯広消



防署員による講話や、

安全表彰などを行っ
た。
この日、宮坂社長は
「地域に信頼され貢献
する企業として、無事
故・無災害は重要。知
恵と工夫を重ね、安全
最優先で取り組もう」
と呼びかけ。同社土木
部の餌取朋哉さんは
「一人一人が法令を守
り、安全を徹底します」
と決意表明した。同社
は同日、安全研修会も
開いた。

(川原田浩康)

2012年(平成24年)4月24日(火曜日)



会合

◆宮坂建設工業(帯広市、宮坂寿文社長)の防災推進会議

23日、帯広市内の北海道ホテルで開かれた。

同社社員や、管内外の協力会社などから計420人が参加。宮坂社長は「当社は今年、創業90周年を迎え

た。建設業はこれから工夫の時代。現場に対する理解度、熟度を上げてほしい。もう一度原点に戻り、安全対策に取り組もう」と述べ



た写真。

安全表彰では木部建設(木部哲実社長)とカトウ(加藤武志社長)が企業表彰、木部建設の岩淵昭洋職長が職長表彰を受けた。

帯広署の野澤和雄交通課長、市消防署の中村久救急課長が指導講話した。協力会社と同社役員との意見交換会も行われた。

宮坂建設工業が防災推進会議

知恵絞りの良い仕事を 420人が安全施工誓う

九十周年の節目
を迎えることに
ついてふれ、「地
域の協力があつ
たからこそ九十
周年を迎えるこ
とができた。地



【帯広発】宮坂建設工業
（帯広、宮坂寿文社長）

は二十三日、帯広市内の北
海道ホテルで二十四年度防
災推進会議を開催した。同
社社員百二十人と、協力会
社二百社から三百人が参
加。宮坂社長は「今は工夫
の時代。建設業も知恵を絞
り、良い仕事をしなくて
は」と呼びかけ、出席者全
員で「ことし一年間の無事
故・無災害を誓い合った。

はじめに宮坂社長があい
さつ。「昨年は東日本大震災
という悲劇に見舞われた年
で、今も我々の仲間である
建設業者の方々ががれき処
理に取り組んでいる。わが
社も復興に向けて全力を尽
くしていきたい」と話した。
また、同社が「ことし創業

和代安全・環境対策室長が
「労働安全衛生方針・労働
安全衛生マネジメントシス
テム」の説明を行った。
最後に同社土木部の館取
朋哉氏が安全決意を表明
し、ことし一年間の無事
故・無災害を誓い合った。
なお、防災推進会議終了
後には、安全研修会を開
催。社員や協力会社から二
百七十人が出席し、安全に
関する意見交換などを行っ
た。



北海道建設新聞

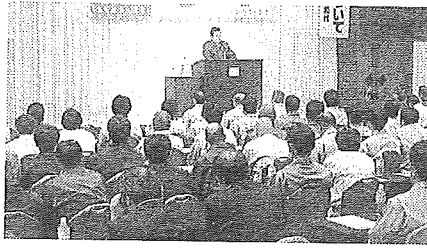
平成24年4月25日

効率化と時短 安全の確保を

宮坂建設工業が
防災推進会議

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広）は23日、帯広市内の北海道ホテルで防災推進会議を開いた。「業務効率化と労働時間短縮を進めるとともに安全を確保する」をコンセプトとした安全衛生計画の重点施策を確認

し、事故防止に取り組み意欲を高めた。写真。協力会社を含め約420人が参加した。宮坂寿文社長は「現場に対する理解度や作業の熟度を少しでも上げ、さらに創意工夫を重ね、安全管理にも結び付けてほしい」と呼び掛けた。



協力会社や職長への安全表彰後、帯広警察署の野沢和雄交通課長と帯広市消防署の中村久緊急課長がそれぞれの立場で話し、安全意識の向上を求めた。最後に統括安全

衛生管理者の村井和代安全・環境対策室長が2012年度の労働安全衛生方針などを説明した。